

# ノリ養殖環境速報 KH-30-13 (播磨灘)

平成31年3月4日 発行

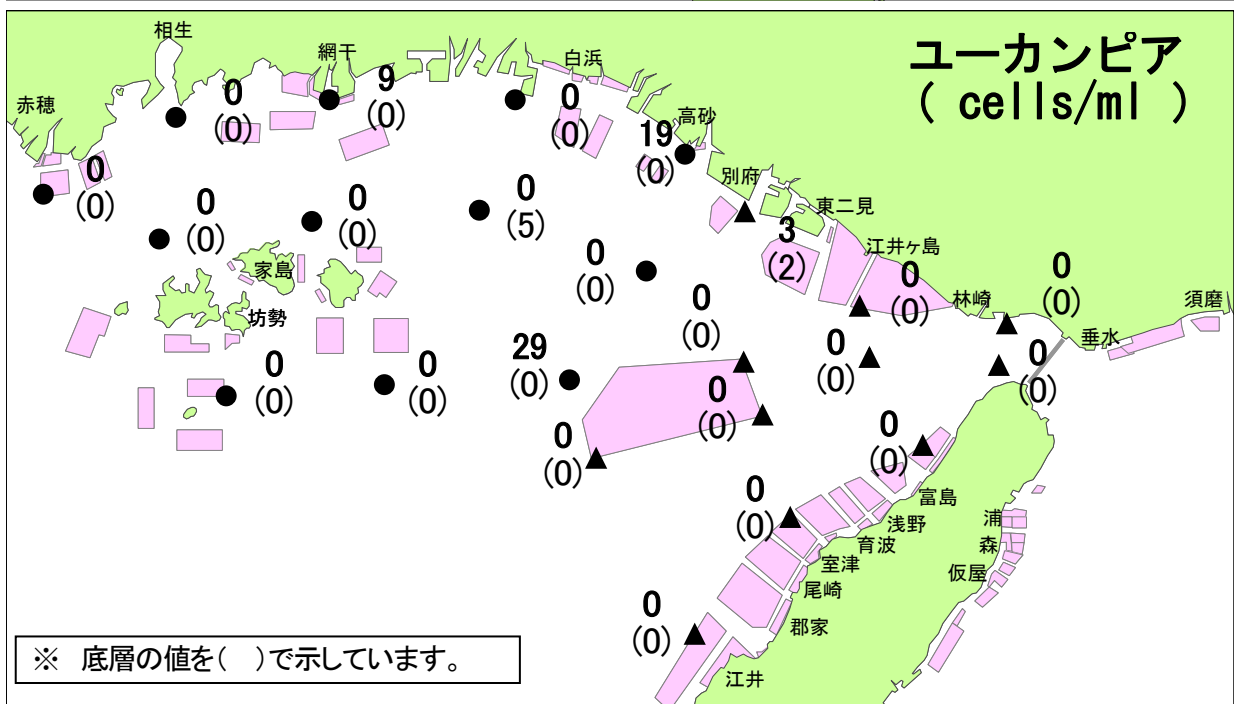
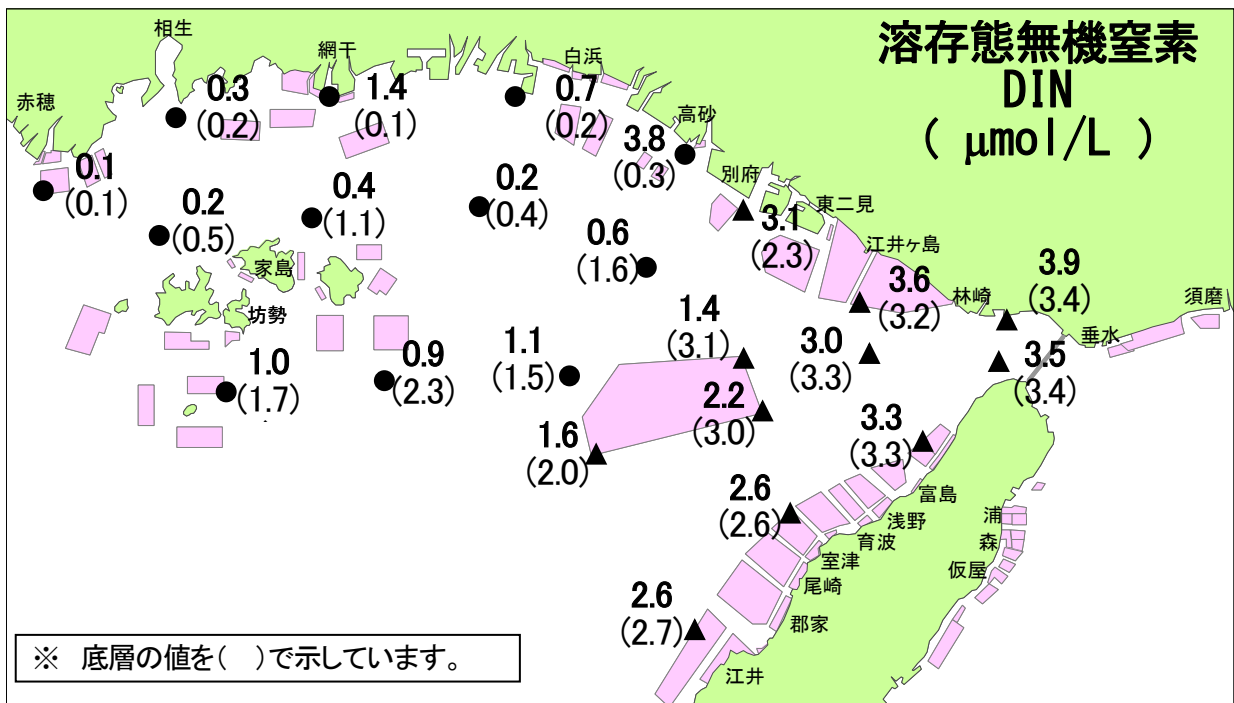
調査年月日：平成31年2月28日

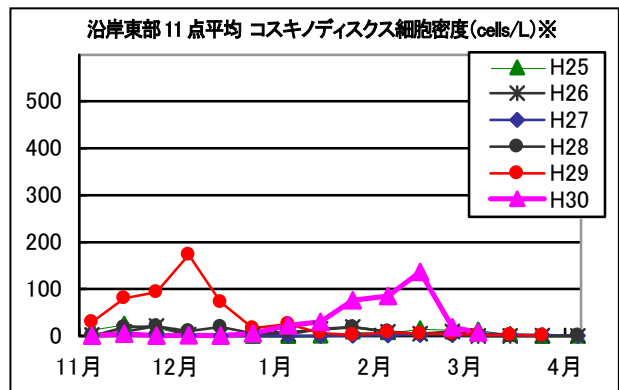
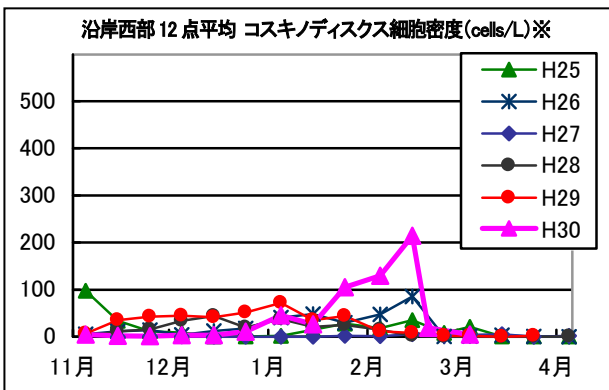
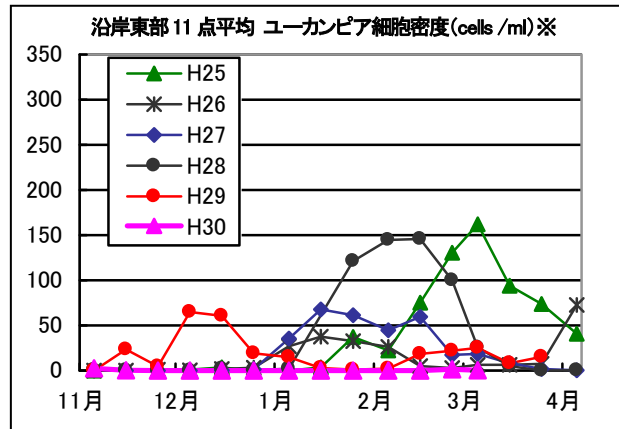
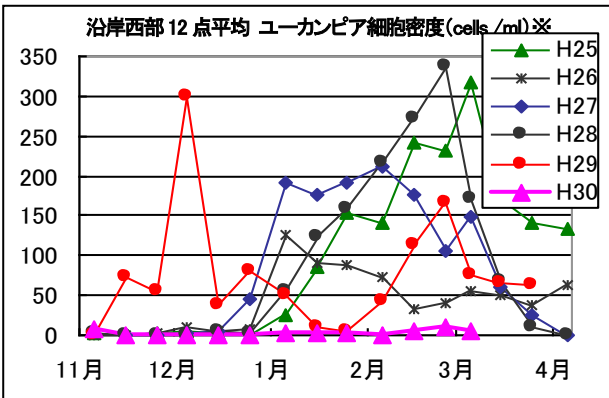
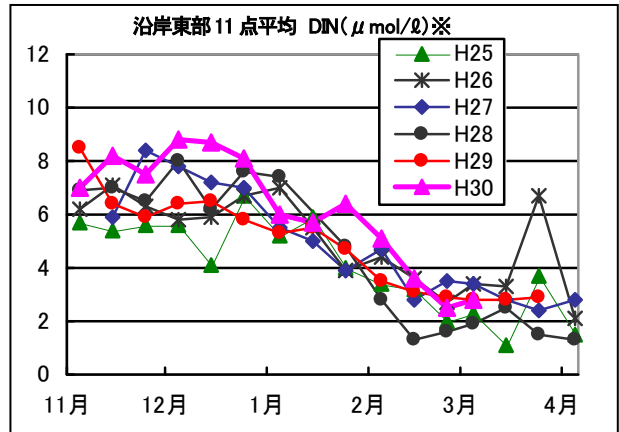
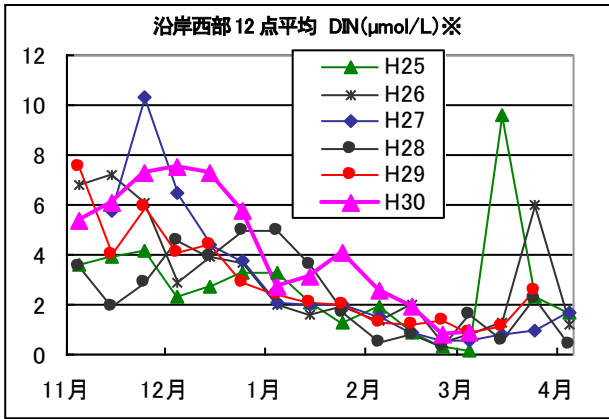
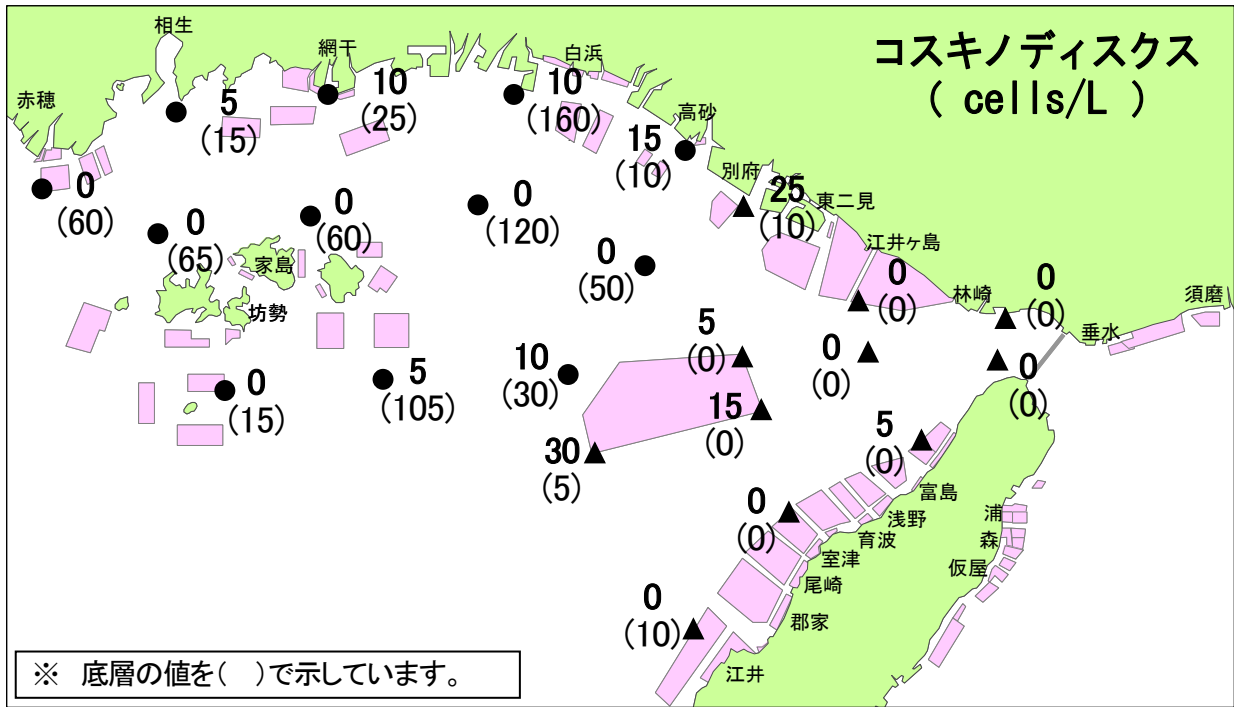
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、 $4\mu\text{mol/L}$ 以下の値で推移しています。ただし、北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレーは減少しています。北西部沿岸では小型珪藻のキートセロスが数多く発生しています。ユーカンピアの一部の海域で確認されていますが、数は多くありません。

水温は、白浜以西では $9.4\sim 10.6^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.5\sim 10.3^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $10.2\sim 10.6^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $10.4\sim 11.1^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $10.2\sim 10.9^{\circ}\text{C}$ でした。

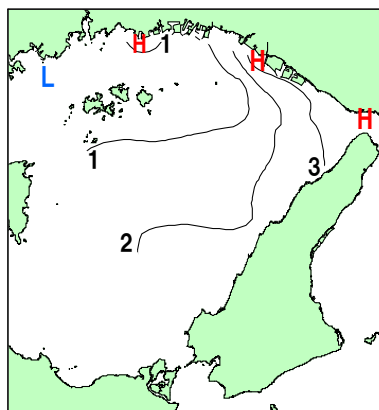




※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

## 平成31年2月28日の水平分布状況(表層、実測値)

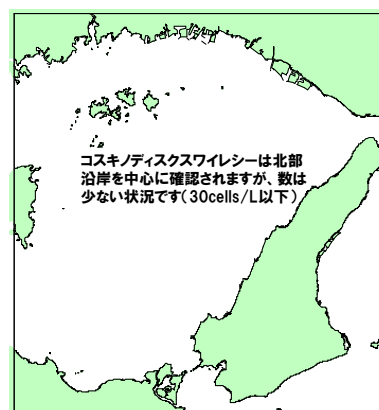
溶存態無機窒素濃度(DIN,  $\mu\text{mol/L}$ )



ユーカンピア (cells/ml)



コスキノディスクス (cells/L)



\* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

### 播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層の DIN 濃度は、概ね  $4\mu\text{mol/L}$  以下でした。ただし、北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね  $1\mu\text{mol/L}$  以下となっています。コスキノディスクスワイレシーは減少していますが、前回の調査時に引き続き北西部沿岸海域では、小型珪藻のキートセロスが多く発生しています。ユーカンピアは一部の海域で確認されていますが少ない状況です。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年より多いとされていますが、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持～やや増加程度と考えられます。

### 週間天気予報 気象庁 3月3日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間 (3/4~3/10) の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雨の降る日が多いでしょう。最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高い見込みです。降水量は、平年より多いでしょう。

### その他の情報

- ・岡山県の調査 (2/14) では、牛窓沿岸の DIN 濃度 (表層) は  $2.3\sim 4.1\mu\text{mol/L}$  でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは  $20\sim 40\text{cells/L}$  確認され、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。  
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位 :  $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

### 【今後の予定】

- ・平成 31 年 4 月上旬まで毎月 3 回程度 (上・中・下旬) の発行を予定しています。
  - ・次回は平成 31 年 3 月 12 日頃に発行する予定です。
- \*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下の URL にパソコン等からアクセスして下さい。  
<http://www.hyogo-suigi.jp/>